

夢の海外遠征へ 横田麗羅さん 大活躍。



オリンピックスタジアム（前列右から4人目＝横田麗羅さん）

3月21日（土）・22日（日）オーストラリアのシドニーでソフトボール国際親善大会が開催されました。

日本代表チームの女子選手23人の一人に、香南市から当時佐古小学校6年生だった横田麗羅さんが選ばれ、出場しました。その素晴らしい体験を報告します。

担当 広報編集委員 島村立法

桜ヶ丘スポーツ少年団 で基礎を身につけ

昨年8月に行われたびわこソフトボール大会で本山桜チームのピッチャーで活躍し、今回の代表チームの一人に選ばれました。ご家族も初めての海外試合。小学生最後の夢の体験になりました。

麗羅さんは小学生陸上大会100m走では県内トップクラス。その才能はさらにソフトボールでも開花。佐古小1年の時から桜ヶ丘スポーツ少年団で男子と一緒にプレーし、野球の基礎を学んだそうです。投打のパワーは男子並みで県内のソフトボールチームにも参加し見事に大会の出場を果たしました。

父から娘に

右投げ・左打ちの麗羅さんは、お父さんと毎日夕方にピッチング100投・ティーバッティング60×2回の特訓。ストレートは最速83kmの実力。左打ちはお



圧巻の5戦全勝

初めての夢の舞台の感想を聞くとオリンピックスタジアムと大勢の観客にビックリ、とにかく「緊張した・」の一言。

2日間で5試合・1試合（75分タイムアウト）小雨交じりの中で日本チームは2チームとも5戦全勝と最高の結果を残しました。11対0の快勝や4対3の2死満塁で一打逆転される寸前でタイムアウトの試合もあり、ハラハラドキドキの全勝には同行のお祖父さん、お父さんも大感激だったそうです。

まさに夢の舞台

麗羅さんが印象に残った試合は初戦の緊張した試合とピッチャーで登板した試合。お父さんは「日本のオリンピック



チームが金メダルを取った時のマウンドで麗羅は2イニング投げたんですよ」と笑顔。麗羅さんは上野由岐子選手の大ファン。5試合中唯一この試合で力投しました。

日本チームの一員に選ばれたこと自体が素晴らしい経験。試合ではピッチャーに加え、サードとライトの守備などもこなし、7打数3安打・4打点と大活躍。この大会を通じて麗羅さんは語り尽くせない体験と、海外の選手と笑顔の交流ができました。

目標は「全中制覇」

4月から高知市の中学校に進学し、ソフトボール部に入部しました。県内の女子ソフトボール競技人口が少ない中、麗羅さんは大きな存在です。これからの活躍にエールを送りましょう。

（写真はご家族提供）

▲2イニングを力投



平成27年度の
香南市広報編集委員
を紹介します。



後列：右から
久保きみ 相原秀夫
井上桂子 島村立法
田中たい子

香南市内の人、場所、出来事など楽しい話題を紹介していきます。読みやすく、楽しい広報誌づくりにがんばります。取材にお伺いした時はよろしくお願ひしますね。

（編集委員一同）

広報紙
スマホで
広報を見よう
i 広報紙アプリの
ダウンロードは
こちらから

《広報へのメール》
kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp